をこうし対処していくことと致した次第であります。

一般会計
一二、九二〇、〇〇〇千円
（対前年度比二・七％減）

特別会計
老人保健特別会計
三、一四二、〇六六千円
（対前年度比一五・四％増）

下水道事業特別会計
三、二〇二、〇〇〇千円
（対前年度比一三・八％増）

農業集落排水事業特別会計
一四〇、七〇〇千円
（対前年度比二八・五％増）

国民健康保険特別会計
三、二一九、〇一七千円
（対前年度比一一・八％増）

水道事業会計
一、七五六、一九三千円
（対前年度比五・〇％減）

合計
二四、三七九、九七六千円
（対前年度比三・一％増）

基盤・環境づくり

市民生活の向上と都市活動の活発化を図るためには、その基盤と環境づくりが不可欠であります。

とりわけ道路網の整備は、市勢の躍進形成の骨格と地域振興の機軸ともなるものであり、本市にとっては東北横断自動車道の事業進展を久しく待望するところであります。

作業計画では、関係団体との設計協議が整い次第、用地取得の本格実施の機を迎えるとのことであります。従いまして、この建設に必要な土砂採取は市域南部丘陵地を予定し、市としても早速ながら立木等の調査活動に着手し、土砂採取に関連して計画する諸事業の円滑な対応を図ってまいりたい考えであります。

一方、国道403号線及び東バイパスなど外環状線道路網の整備計画は、関係機関のご配慮を得て順次進捗しているところであります。特に県施工による都市計画道路「駅前・中新田線」、「下興野・田家線」、「本町・東金沢線」の各線は、街路事業としていずれも本町地内の拡幅改良が計画されており、その推進について負担するほか、市単独事業の「下興野・程島線」についても、引き続き美幸町地内の道路改良に努める所存であります。

市道等の改良工事については、「朝日第3号線」、「大鹿第49号三津屋線」、「田家・程島線」などを中心に他路線の舗装、側溝新設も含め、本年度同様精力的に事業の取り組みを進めてまいります。また、農道整備に関連致します事業は、岡田地区の用地取得など引き続き拡幅改良を推進し、大型機械化とバイパス機能に配慮していくことと致しました。

本年は、幸いにも暖冬少雪に恵まれたわけでありますが、冬期間の、それも中心部における交通確保は宿命的課題であります。新年度におきましては、「田家・新栄町線」の延長四六〇メートルにわたって融雪施設を完了し、順次他路線への拡大も準備してまいります。

続いて橋りょうに関連致します事案でありますが、特に能代川原川にかかる橋りょうについては、新規に年次計画をもって下興野橋から塗装事業に取り組んでいくことと致しました。

次に、快適環境の条件づくりであります。公共下水道事業は、清潔な生活環境づくりとともに、市民の悲願でありました水害解消に大きく寄与していることはご承知のとおりであります。中部地区から着手した事業も、現在では西部・北上地区に受益地が拡大されつつあるところでありますが、その受皿となる施設整備には、これまで多額な投資をしてまいりました。しかし、事業の進捗によって、水害の解消とともに不用な排水路などは埋め立てられ、カやハエのいない快適な生活道路によみがえっているのもまた確かな事実であります。新しい時代に欠かせない都市施設と認識し、引き続き努力することと致しました。新年度におきましては、美幸町地内から新栄町地内までの延長一、二五〇メートルの雨水管きょ工事を計画し、一号幹線の進捗率を八八％にまで延ばしたい考えであります。また、汚水管整備は、延長二、六六六メートルにわたって施工することで全体の処理面積を一四一ヘクタールに拡大する計画であります。この汚水管整備にかかる補助事業は、昭和六十三年度をもって終わる見込みでありますので、新たな年次計画により「第二期事業計画」の策定を準備してまいりたいと思っております。

それでは、予算案の詳細につきましては別途ご説明申し上げることに致しまして、ここでは、昭和六十三年度に計画しております主な事業概要を三つの方針施策に集約致しまして順次申し上げることと致します。

一方、昭和五十八年度に着手致しました「阜水都市下水路事業」も、既に五年を経過することとなりました。新たに四〇五メートルの工事延長を計画し、環境衛生の向上とともに水害防止に配慮することとしております。

なお、「農業集落排水事業」は、農村の快適な生活環境と農業用排水の水質保全を図る目的で、別途会計をもって対応しているところであります。新年度におきましては、単年度計画をもって処理場の建設に投資し、昭和六十四年度にも一部供用開始にまでもっていきたい考えであります。同時に、管路工、放流工などの施工を図るほか、引き続き集落排水路整備を進めてまいります。

公園・緑地の関係でありますが、都市化が進めば進むほど潤いと憩いの場が必要であります。新津の顔として、秋葉公園と石油の里地域を重点的に引き続き整備を進めてまいります。また、秋葉湖の恵まれた自然環境を最大限に生かして周辺整備を図り、不足する駐車場の拡充と大型車両の進入に備え、園路の整備も併せて進めたい考えであります。このほか、石油の世界館のオープンに備え、庭園整備の継続とともに、青葉

お買物、ご用命は市内で

本町4 チューリップ店会 お店紹介

一品料理・丼物・ラーメン・そば・うどん

4月1日 オープン 秋葉山無料休憩所

★少年広場ではシカとクジャクが元気に遊んでいます。

お花見に、御宴会にどうぞ！

松桜 ☎22-0346

と野鳥のさえずりが楽しめる白玉の滝への遊歩道の完成を計画したところであります。

なお、能代川分流の連水をもって設置された記念公園は、碑の建立、植樹祭を契機にやすらぎの場となっておりますが、新たに「潤いのある水辺河畔整備事業」として県との共同歩調の中で公園化を図るべく、用地の取得から取り組みを進めていくことと致しました。

続いて廃棄物処理の関連施設について申し上げます。まず、ごみ焼却施設の新設計画でありますが、ご承知のように地元事情と計画論議がかみ合わず、予定した事業スケジュールを変更せざるを得ない事態となりました。この間、地元皆様に混乱と迷惑をお掛け致しました点、責任を感じるものであります。

しかしながら、施設の新設が本市にとって緊急な行政課題であることには変わりなく、そのためには地元の合意が不可決な要件であります。計画に備え、環境アセスメント調査もすでに実施済みでありますが、この度の行政に向けられた地元の意志を厳粛に受け止め、建設位置の見直しと計画の的確な見通しの中で対処してまいりたいと存じます。

なお、現施設の保守管理については、し尿処理施設を含め十分に配慮することとし、また、不燃物処理の建設事業も引き続き造成工事に当たることと致しました。

次に、上水道事業についてであります。既にご承知のとおり、総力を挙げて取り組んだ第六次拡張事業は、おかげをもちまして昨年度で完了し、対象人口七万二千人の安定給水が可能となったところであります。しかし、この間投入された総額三十九億円余にも及ぶ巨額な経費は、そのほとんどが企業債で賄われておりますために、元利償還金の増加等により経営がひっ迫し、現行料金のままでは欠損金が予測される収支見通しに立ち至りました。

このため、水道事業審議会からは慎重なご審議を通し、いくつか経営上の問題点のご指摘を受け、かつ、また向こう三か年の現行使用料の改定についてやむを得ないとするご答申をいただいたところであります。これらの状況と将来の負担増を考慮し、昭和六十三年四月一日から平均一一・三七％の料金改定をお願いしていくことと致しました。

これからの水道事業は、施設の拡張から維持改良時代を迎え、さらに市民サービスの高度化が要請されてまいります。新年度におきましては、減圧による出水不足の解消、老朽石綿セメント管の早期改良を積極的に推進するほか、新たに漏水防止対策事業を五か年計画で取り組んでまいりたい考えであります。

活力づくり

まちの特性を生かし、調和のとれた産業形成と振興を図るべく、新年度も全力をあげて取り組みを進めてまいります。

さて、本年も本市農業の柱である稲作について変転めまぐるしい政策が打ち出され、厳しい環境が一段と強まりました。昨年から転作政策に据えられた「水田農業確立対策」に、この度新たに「米需給均衡化緊急対策」のメニューが加わり、さらに一〇％強の増配分がなされたところであります。

これは消費、流通、生産の各般にわたる需給バランスの回復を意図したもので、いわば転作の超過達成に向けられた政策であり、さらに努力が強いられることになりました。各農家にとりましては農業展望がもう一つはっきりせず、先行きの経営不安が偽らざる心境とお察しするものであります。しかし、諸般の情勢から何としてもその対応が迫られるのでありまして、各農業協同組合と一体となり、割当目標の完全消化に向けて努力していかなければならないものと考えます。農家各位の格段のご理解とご協力をお願いする次第であります。なお、こうした中で良質米生産の推進と米飯給食の拡大など米消費拡大を図るために、有効な手段を講じてまいりたい所存であります。

一方、転作強化や米価引下げにみられる農業環境の変化は、農家所得の落ち込みはもちろんのこと、地域経済の活力にも大きな影響を与えかねません。これからの農業においては、専業、兼業農家が相互補完的に連携して集落ぐるみで機械及び土地の有効利用を図り、地域営農の集団化を進める必要があると考える次第ですが、いずれに致しましても、こうした時期にこそ一層生産基盤、農村環境整備の推進を図ることが大切であります。農業振興計画に沿って、農家負担の軽減策や生産の組織化、特産物の市場開拓などにも十分意をもちいて対処してまいりたいと思っております。

次に、本市の産業活動にとって別な視点で大きな厳しさを抱え、その対応策を急がなければならない問題があります。その一つは、商業環境にみられる外的要因の脅威と、機能の沈滞化であります。

端的に申し上げて、大型店の郊外立地の動き、あるいはまた中心市街地からの撤退、加えて市庁舎移転にからむ現実的課題を認識するのでありますが、大型店問題に関しましては、商調協の場における審議を尊重し、共存共栄の道を探るというのが従来からの基本姿勢であり、今後もこの姿勢を堅持してまいる所存であります。

しかし、近年は道路交通の利便化によって、消費者自体の意識や行動が大きく変わってきていることも指摘されております。それだけに、多くの人が出会い、触れ合い、参加する場を創って消費者ニーズに応えるという商業者自らの自助努力に期待しながら、行政としては〝流れ〟を大事にした環境改善に努力を払い、体系的な振興策に目を向けてまいりたいと思うのであります。

こうした中で、慢性化する市街地の交通渋滞の解消は、商業環境づくりの大きなポイントの一つでありましたが、幸いにも、新年度において

お買物、ご用命は市内で

ボンと押せば お湯が出る

すぐ点く すぐ出る すぐ消せる

指先タッチ（押す）のガス湯沸器

越後天然ガス・ショールーム ☎(22)9651

これで安心！

老人から 子供まで 安心して 使えます

台所や洗面所に便利です